



読字 故 原 田 親

No. 658

2012/1/15

# 日中友好新聞

発行所

日本中国友好協会  
〒110-0055 東京都千代田区  
西船場1-1-1 東京学生会会館

日中友好協会  
岡山支部  
〒700-8258  
岡山市東区3-8-30 514  
TEL:0861272-3010  
郵便番号11所  
01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒712-8914  
倉敷市連島中央1-8-1  
(宮地方)  
TEL/FAX:0860-446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://rizhong.biz/  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



## 二〇一二年を日中友好運動飛躍の年に!

### 日中国交回復四〇周年

今年、日中国交回復四〇周年の節目の年です。

一九七二年九月二十九日、日本国政府(田中総理)と中華人民共和国政府(周恩来総理)は、九項目の合意事項からなる共同声明を発出しました。これにより

両国は「戦争状態の終結と日中国交正常化」を実現し、両国関係の歴史に新たな一頁を開くことになりました。そして、一九七八年八月二二日、日本国と中華人民共和国との間の平和友好条約が締結されました。

### 岡山支部 望年会に飛躍のきざし

昨年12月11日の望年会の様子は、前号で谷川さんが詳しく報告しています。

私は、谷川さんの最後の文章(注2)と参加人数及びその内訳に、岡山支部の飛躍のきざしを感じました。参加者は38人(子供一人を含む)で、内訳は、次の通りです。

- 1・日中理事・監査(10人)
- 2・中国帰国者関係(10人)
- 3・中国帰国者の日本語教室講

今日、日中両国民の相互感情は、二〇一〇年九月の尖閣諸島沖での中国漁船衝突事件をきっかけに悪化しています。その後も日本では、「中国脅威論」を煽り、中国では「偏狭なナショナリズム」を強く主張するマスコミ報道の影響もあります。感情の悪化はなかなか改善されません。

こうした現状を打開するためにも今年、共同声明の再学習が強く求められています。ここでは、日中友好運動の原点である「日中不再戦は、憲法9条を生かす道」に通じる第六項のみを紹介いたします。(注1)

岡山支部はこれらの節目を、他団体とも協力し中国映画「白毛女」の上映活動を中心に取り組んでいきます。

### 節目の意味を心に刻み

今年、日中国交回復40周年以外にも多くの節目があります。平頂山事件から80年、南京事件・盧溝橋事件75年及び中国「残留孤児」訴訟提訴10年などです。

岡山支部はこれらの節目を、他団体とも協力し中国映画「白毛女」の上映活動を中心に取り組んでいきます。



2011年 日中友好協会岡山支部 望年会



乾杯の音頭をとる谷口理事

最後に、私も9月で古希を迎えます。それぞれの節目の意味を心に刻みながら、この1年を生きたい  
日中友好協会岡山支部  
事務局長 小林軍治

(注1)

### 九項目の合意事項

六、日本国政府及び中華人民共和国政府は、主権および領土保全の相互尊重、相互不可侵、内政に対する相互不干渉、平等及び互恵並びに平和共存の諸原則の基礎の上に両国間の恒久的な平和友好関係を確立することに合意する。

両政府は、右の諸原則および国際連合憲章の原則に基づき、日

(注2)

私も、来年からは日中友好の為に出来ることから何でも始め、その輪を波紋のように世界へと広げたいと切に誓い、会場を後にした。

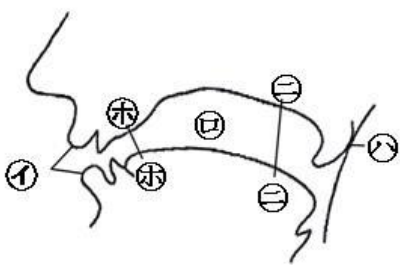
本国および中国が、相互関係において、すべての紛争を平和的手段により解決し、武力または武力による威嚇に訴えないことを確認する。

## ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか? ④

竹内和夫

つまる音(ッ)について:

- ①どんな音ができるか、
  - ②口の中はどうなっているのか、
- 答え合わせをしよう。  
[国際声音字母]



- ◎ イッポン①音なし、②④をとじる、③をせまくする、⑤をとじる。[p]
- ◎ イッカイ①音なし、②④とじない、③をせまくして、⑤の上下をとじる、⑥をとじる[k]
- ◎ イッサツ①③のすきまから息がきこえる、③をせまくする、④をとじる。[s]
- ◎ イットオ、イッチャク①音なし、②⑤の上下をとじる、④はとじない、⑥をとじる。[t]

どうですか? おなじ(ッ)で書いてあっても、それぞれちがいますね。つづく音に「同化」して変わるわけです。大切なのは、どの単語も4拍で発音すること。

つづく

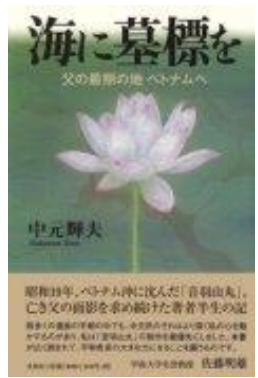
# 語りつぐ戦争

## 一中元輝夫著 『海に墓標を』(文芸社¥1,300)を読んで

岡山県医労連 平田香奈子

職場でこの本がすごくいいと評判で手にとりました。一番こころをうたれたのは、文章につづられる中元さんのお人柄です。

フリーピンではなく、ベトナム沖で音羽山丸に乗船していたときに攻撃を受け、船と一緒に沈んだことをつきとめます。



これまで被爆者や空襲体験者、中国「残留孤児」の方のお話など聞いたり読んだりしてきましたが、またひとつ戦争を知りました。中元さんはいわゆる戦争孤児でいらつしやいます。

戦争でお父さんを亡くし、続いて代わりに家族の大黒柱となつたお母さんを過労のため亡くされています。小さい頃に両親を亡くし、真相がわからないままご苦労されてこられたさびしさと悲しみと傷み。これらがずっと本の中に漂っていて、もちろん戦争に対する怒り、日本が戦後何もしてこなかったことに対する怒りもありますが、胸にぼつこり穴があいた感じ、それがとても印象に残りました。

フリーピン沖あたりで亡くなったと知らせる戦死広報と石ころが入っただけの遺骨箱。働きた者だったお父さんが、今日はいんどいと言ったときのこと。別れ際に握ったお父さんの手のぬくもり。麦飯のお弁当の話。ひとつひとつの描写に中元さんとお父さんやお母さんの気持ちがつまっています。

中元さんは大事故をされてそのときの夢にお父さんが出てきたことを糸口にお父さんが

どこかで生きているんじゃないかと玄関先で足音がするたびにはつとし、敗戦を知らないまま何年もジャングルの中で身を隠していた日本兵がでてくるたびお父さんどこかで、とずつと思ってきた中元さん。こういう家族が何万人といること、ずつと真相がわからないままにいる人もたくさんあること、こういう悲しみが何万個とあることがよくわかります。

戦争を体験していない者が戦争を知るのは難しい環境にあると思います。自分で知ろうと思つて読んだり見たり聞いたりしない限り難しいです。たくさん殺した、亡くなった、戦争つて何なのか、戦争を経験した人がどういう思いを抱えて生きていくのか、一体何のために、戦争はおろかでもつたいないと、誰もが同じ悲しい思いをしなくていいように、考えて行動していきたいとあらためて思いました。

## たのしい思い出の日 十二月十一日

井上愛子

何曉麗さんと八月に逢った時、空港までドライブしましたよとうれしいことを言ってくれました。

それが一月一日実現したので。何曉麗さん、何さんの友人、原さん、私の四人で。勿論何さん運転の車で一路まっしぐら岡山空港へと周囲の紅葉した美しい山々を眺めながら。とても遠い道程でしたが私はすっかり童心にかえり夢心地でした。

空港に到着し広大な敷地に止められている車のなんと多いことか。これ程の人達は飛行機に搭乗してどこへ行かれるのだろうか？

私は八年前に初めて関西空港から中国に行ったのですが、岡山空港は初めてでしたので興味津々。また、飛行機が次々と飛び立つのがとても素敵。手を振つて見送る私が滑稽に思えるのでした。

## 「内モンゴル自治区」への旅 6

坪井あき子



ホロンブイル草原

私がこの旅で最大楽しみにしていた「国境門」。ところが、ガイドはそこへ案内してくれなかった。これから行くのかな、と思つていたが、バスはどんどん走りつづける。ロシアが見えるのですか」と声を出したが、もう見えません、とのこと。

ガイドがくれたアンケートに私は「日程表に書いてあるのに、案内がなかった。大遺憾了!!」と書いて出した。ガイドはひどく気にして、私にそつと「どういうことでしょうか」とたずねた。

私は「日程表を見せて、ちゃんと書いてあるでしょう」といったら彼女は、この日程表を見たこともないし、国境門へ行くことなど、聞いていなかった、というのだ。私は困惑した。じゃ、あ

あなたの責任ではない。ちゃんと連絡してなかった日本の旅行社が問題です」と慰めた。帰国後、A社の責任者と3回、電話で話した。すみません、すみませんとひたすら謝りながらの結論はこうである。外国人は国境門へ入れない。日程表に入れていたのが間違っていた。資料も配るべきではなかった……」

お昼は喫茶店で原さんの出費で軽食。サンマルクの名前はわかりませんが、揚げパンのようなものをいただきました。田舎者の私はこんな美味しいものがあるのかと。皆様に笑われるかもしれないませんが、まったく世間知らずな老婆なのです。

午後三時から日中友好協会の望年会に出席、中国帰国者の方々の御心盡しの餃子や国民救援会の方々のおでん、ホルモンうどんなど、お腹一杯ごちそうになつて感激の一日でありました。



井上さん 何さん 原さん 馬さん

## 太平洋戦争開戦の日 「赤紙行動」に参加しました。

稲葉泰子

12月8日(木)午後12時から1時まで、岡山市表町天満屋アリスの広場前で、母親連絡会の主催で、行われた、「赤紙行動」に参加しました。

ちょうど、師走で、街はクリスマスソング一色、歩いている人もなんとなく気ぜわしそうでした。そんな中、宣伝に参加した私達もサンタの帽子をかぶり、チラシを渡しました。

年配の方はさすが、浮き足だつた足を一瞬止めて、戦争を思い出し改めて、平和な世の中を、という気持ちになったようで、感慨深く眺めていました。

平和委員会の方や民商の方、治安維持法の方、様々な団体が参加して総勢35人近くで、リレー宣伝をし、チラシを配りました。

日中友好協会からは、谷口理事と私の二人でした。

次回の新聞送付作業は 1月23(月)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

吹井林田和製  
貝河小真竹竹坪